

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教科：芸術

科 目：美術 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 高校生美術 1 日本文教出版）

教科 芸術

の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における味方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりできるようになる。

生涯にわたって芸術を愛好する心情をはぐむとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術文化と幅広くかかわる資質・能力を育成する。

科目 美術 I

の目標：

| 【知識及び技能】                                                             | 【思考力、判断力、表現力等】                                                                                           | 【学びに向かう力、人間性等】                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意思工夫し、総蔵王的に表すことができるようになる。 | 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意思工夫、美術の働きなどについて考え、次第を生成し、創造的に発想し、構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにない。 | 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術の伝統と文化に親しみ、創作を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |

|    | 単元の具体的な指導目標                                                                                  | 指導項目・内容                        | 表現      |   |   | 評価規準 | 知                                                                  | 思 | 態  | 配<br>当<br>時<br>数 |        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------|---|---|------|--------------------------------------------------------------------|---|----|------------------|--------|
|    |                                                                                              |                                | 絵・<br>彫 | デ | 映 |      |                                                                    |   |    |                  | 鑑<br>賞 |
| 前期 | 明暗のグラデーションを鉛筆で表現する。自分の手をデッサンし（⑧切ごが要旨）、色の三属性、色の混合、捕食対比について知る。                                 | グラデーションと手のデッサン。鉛筆）。色彩の基礎（アクリル） | ○       |   |   | ○    | 描写力とともに、物を見る力（観察力・注意力）を高めることができる。色彩についての基礎的な仕組みを学び、知識の定着をはることができる。 | ○ | ○  | ○                | 16     |
|    | スパッタリング、ドリップング、デカルコマニーパティック等により、四季、感情を表現し、理解する。（⑧切を半裁×4）                                     | デザイン技法（アクリル）                   |         | ○ |   | ○    | 様々なデザイン技法を経験することができる。                                              | ○ | ○  | ○                | 8      |
|    | セザンヌ、モネの油彩作品を模写を通して混色、明暗の表G連を学ぶ。（鉛筆によるトレース・6号サイズへの拡大作業）友人の作品を鑑賞し評価する。                        | 印象派の作品を模写する（鉛筆）鑑賞              | ○       |   |   | ○    | 模写する作家を決め、鉛筆によるトレースをすることができる。                                      | ○ |    |                  | 6      |
|    |                                                                                              |                                |         |   |   |      |                                                                    |   |    |                  |        |
|    | セザンヌ、モネの油彩作品を模写を通して混色、明暗の表現を学び、（F6号ボード）印象派の作品を鑑賞する。                                          | 印象派の作品を模写する（アクリル）              | ○       |   |   | ○    | 鑑賞し感じたこと・学んだことを、自分の表現に生かすことができる。                                   | ○ |    | ○                | 16     |
| 後期 | 各ピースがそれぞれ独立したレリーフになり、一つのバズルになるようにアイデアスケッチし、板に転写する。                                           | 木彫レリーフによるジグソーパズル               | ○       | ○ |   | ○    | 自己の考えをまとめて下書きすることができる。                                             |   | ○  |                  | 16     |
|    | 板材の限られた厚みの中で、班立体の表現を試みる。彫刻刀やヤスリの基本的な扱い方を理解し、暗線に作業できるようにし、理解する。（桂板材200mm×200mm）友人の作品を鑑賞し評価する。 | 木彫レリーフによるジグソーパズル               | ○       | ○ |   | ○    | 自分が意図するものをどのように表現するか、創意工夫する。安全に留意することができる。                         | ○ |    | ○                | 8      |
|    | 木版画の制作過程を学び、彫刻刀による白黒の表現を工夫し、理解する。さらに彩色目半の制作過程を学び、表現する。（シナベニヤ300mm×225mm）友人の作品を鑑賞しあう。         | 彩色木版画（油性インク黒・アクリル）             | ○       |   |   | ○    | 資料集め等、構想の段階を大切にし、色彩の構想を練り、計画的に制作することができる。                          | ○ | ○  | ○                | 8      |
|    |                                                                                              |                                |         |   |   |      | 合<br>計                                                             |   | 78 |                  |        |